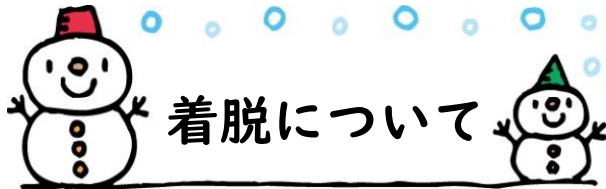




# にこにこ



あっという間に時は過ぎて、今年も残りひと月となりました。冷たい北風に負けず、毎日元気に遊び、丈夫な体を作って健やかに年越しを迎えたいですね♪一年間ありがとうございました！



1歳児はまだ自分から着脱する事は難しいので、大人が中心となって着替えをしています。その中で一つ一つの行為や動きに対して、ゆっくりと丁寧に、聞きやすい様にはっきりと「腕を抜くよ(入れるよ)」や「ズボンを脱ぐよ」「足を入れるよ」等、声を掛けながら手を添えて着脱を行います。毎日繰り返し少しでも出来たら沢山褒めています！食事時のエプロンを自分で外そうとする姿も見られるようになってきました。楽しみながら自立して着脱できるようになるといいですね♪

園では靴下の脱ぎ着の練習も兼ねて、太いゴムを広げて足首にはめたり外したりする動きを遊びの中で取り入れています。



2、3歳児は着脱の際、少しずつ「自分でやりたい!」という気持ちが芽生えてきます。大人が着替えを手伝おうとすると、手や足を少しずつ動かすようになっていきます。自分で手を動かせた!足を上げれた!少しズボンを引き上げた!など、自分で出来ることが増えてくるので、「自分で出来た!」という達成感、褒められた事の喜びが「次もやってみよう!」という意欲に繋がります。その自信、成長は着脱だけではなく、日々の生活の様々な場面でチャレンジする「チカラ」となります。



着脱を自分でできることは、基本的な生活習慣(身辺自立)への形成の一つです。発達にも重要な役割があり、子どもたちは手先をたくさん使うことで身体を思い通りに動かすことを学んでいきます。

衣類の着脱の習慣は日々の積み重ねで培われます。大人が全て行うことは簡単ですが、園では「自分でやりたい!」という気持ちを大切にしています。そして、最後まで自分でできた!という達成感を味わえるよう見守り、支援しています。おうちでもお時間がある時にお子さんの着脱を見守り、頑張っている姿をたくさん褒めてあげてください!また、脱ぎ着しやすい洋服、靴のご用意をお願い致します。



定期、一時保育の利用は年末12月27日(金)までです。  
年始は、1月6日(月)から利用開始となります。皆さん、良いお年をお迎えください。  
来年もどうぞよろしくお願い致します。